

新国立競技場の整備に関する
国・東京都の財源検討ワーキング・チーム（第4回）
議事録

日 時：平成27年11月24日（火）16:30～16:40

場 所：都道府県会館

出席者：古谷内閣官房副長官補、中川内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室総括審議官、内藤総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）、美並財務省主計局次長、高橋文部科学省スポーツ庁次長、安藤副知事、潮田政策企画局次長、小山オリンピック・パラリンピック準備局理事（大会準備調整担当）、山田財務局主計部担当部長

【中川審議官】

それでは、皆様お集まりですので、4回目の財源検討ワーキング・チームを始めさせていただきますと思います。

それでは、今日は、これまで議論を積み重ねてきた結果を紙の形にまとめたものを皆様と確認させていただきたいという趣旨になっております。

議事次第の下に、これまで御相談させていただきました新国立競技場の整備に係る財政負担についてというポンチ絵付きの紙を配っておりますが、この紙は、12月1日、来週火曜日の午前中に舩添知事と遠藤大臣の両者による会談をして、そこで知事と遠藤大臣の2者間でこのような形で今後進めていこうという2者の合意案ということで、紙の形でまとめたという想定となっております。

1枚目は基本的な考え方をまとめたものとなっておりますし、2枚目以降、別紙1が都民への便益の主なものということでまとめた紙が2枚ついていると、そして、財源スキームの本体になるところは4枚目以降の別紙2、それに添付されているポンチ絵が2枚という形で構成されています。

この紙は、会談が終わりました後、12月1日のおそらく午後になるかもしれませんが、国側の方で、大臣と知事でこのような合意に達しましたということで、説明をするセッションを予定しております。

むろん、この紙の1枚目に書いてありますように、あくまでもこの合意は知事と遠藤大臣の間の合意ということで、国側の予定になるかもしれませんが、今後、関係閣僚会議において決定をするという想定のものということになっております。

紙の中身などについて、特によろしいでしょうか。

それでは、この紙についてはご了承いただいたということで。

引き続き、段取りなどで調整させていただくことが残っていますが、9月にワーキング・チームを作ってから、皆様の御協力でここまでたどり着けましたことを御礼申し上げます。

引き続きよろしく申し上げます。

それでは、古谷副長官補と安藤副知事から一言。

【古谷副長官補】

一言だけ。

4回ワーキング・チームをやらせていただきまして、大変いい形で案を作らせていただきましてありがとうございました。

これから関係者に説明をして、閣僚会議にたどり着きたいと思います。

本当にありがとうございました。

【安藤副知事】

ありがとうございました。

国の施設にお金を出すというのも、直轄では色々あるんですが、こういう形で相当注目されているのは間違いないので、私どももしっかり説明をしていきたいと思います。

よろしく願いいたします。

【中川審議官】

それでは時間にはちょっと早いですが、4回目のワーキング・チームをこれで終了させていただきます。

ありがとうございました。

(以上)